

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

# 松本大学学報

# sokyu 蒼穹

2020.9 Vol.140



地域での実習や活動も徐々に再開 ～一歩ずつ前へ～

**特集**

## 多彩な分野で活躍する 卒業生の今

P.02

●住吉廣行学長退任にあたって ..... P.04

●(株)池の平ホテル&リゾートと連携協定を締結 ..... P.06

●創立から67年の長い歴史と伝統の中で  
安定した実績を誇る「松商短大」の学び ..... P.10

●資格取得に向けて学部での取り組みから ..... P.11

●『第54回梓乃森祭』オンライン開催決定! ..... P.12 ほか

# 多彩な分野で活躍する卒業生の今

本学ではこれまでに17,300名余りの卒業生を輩出してきました。その多くが在学中の学びを活かして幅広い分野で活躍し、地域に貢献しています。今回は、職場の中核として活躍する卒業後10年前後の卒業生にインタビューし、ご紹介します。

## 中国留学やインターンシップの経験を活かし 海外拠点でも幅広く活躍

日信工業株式会社勤務 湯本 健士さん  
(総合経営学科 2008年3月卒業)



### 総合経営学科を選んだ理由

当時、高校3年の私は就職か、進学か、進学ならどの学校か、とても悩んだことを覚えています。「将来こうなりたい」といった、自分の将来像を描けず、どんな仕事か自分に向いているのか悩んでいました。そんな私にとって、経営の幅広い分野を学ぶことができ、学外授業や手厚い就職のサポートを受けられることに魅力を感じて、総合経営学科を選びました。

### 学生時代に印象に残っていること

授業や友達と過ごした時間も印象に残っていますが、私にとって中国留学が一番印象に残っています。留学のきっかけは、所属していた兼村ゼミで、中国へ進出する長野県の企業について触れることが多く、就職活動でも活かせると考えたからです。2006年に上海の華東師範大学で1年間中国語を勉強し、翌年は広東省の日系企業で

インターンシップをしました。当時の中国は高層ビルの建設ラッシュで、まさに中国经济の著しい発展の様子を目の当たりにし、衝撃を受けたことを覚えています。この中国での経験が、後の就職活動において一番のアピールポイントとなりました。また、中国留学、インターンシップでお世話になった多くの方々には大変感謝しております。

### 現在の業務内容

東御市に本社がある自動車ブレーキメーカーに就職し、現在は経営管理本部事業管理部で、関係会社を含む日信グループの業績管理を行っています。経営状況を評価する仕事なので、大学時代の学びが今の仕事の基礎になっています。また、2013年～2015年にブラジルの子会社に経理責任者という立場で駐在をしました。プレッシャーは大きかったものの、経営者に近いポジションで幅広く仕事ができたとが貴



重な経験となりました。その後も海外駐在の経験を活かしてインドに出張し、新工場立ち上げのために注力しました。

### 在学生へメッセージ

コロナ禍により行動が制限されている中で難しいところだと思いますが、興味のあることは失敗を恐れず挑戦し、充実した学生生活を送ってください。たとえ失敗しても、それは自分の財産になり、次のステップに繋がると思います。

今自動車業界は100年に一度の大変革期と言われ、当社は4年前に事業合弁化を経験し、これから経営統合を予定しております。その中で私も新しい仕事への挑戦が続いています。お互い失敗を恐れず挑戦していきましょう。そしていつか社会人として一緒に働けることを楽しみにしています。

## 一期生として国家試験を突破し栄養教諭へ 在学中に培った知識や経験が仕事の一番の基礎

北相木小学校(栄養教諭)勤務 降旗 優希さん  
(健康栄養学科 2011年3月卒業)



### 健康栄養学科を選んだ理由

高校時代、進学したら管理栄養士の資格が欲しいと考えていました。進路相談の時に担任から、「県内に新設の栄養科ができるよ」と教えていただいたことが松本大学を知ったきっかけでした。県内だったこと、教員免許も取れるようだということも私の中でプラスに思い選びました。

### 学生時代に印象に残っていること

大学に入ってから、食品などのことはもちろん農学や医学、流通…多岐にわたる分野をカバーしなくては資格に結びつかないこと知り、栄養学の領域の広さにとても驚きました。

そして、国家試験に向けて大学で対策や模試を開いてくださり、手厚く指導してもらったことが嬉しかったです。また、多くの講義で発表などの時間があり、コミュニ



ケーションの取り方やプレゼンテーションの仕方などに触れる機会が多く、社会に出てから必要とされる力を身に着けることができたと思います。

また、有志の学生が集まって健康栄養学科の水野先生が行う料理教室や栄養指導などへ同行し、様々な経験を積ませていただいたことが、今の力になっています。特に栄養指導では、自分たちで講座の内容を考え工夫しながら媒体を準備したことや、スポーツ健康学科の学生が考えた運動をして、地域の方々と一緒に汗をかいたことが思い出です。

### 現在の業務内容

現在、栄養教諭として所属校の給食管理や食育に携わっています。学校現場では栄養や給食の仕事だけでなく、時には専門外の仕事も多くありますが、それが学校現場の醍醐味だと感じています。また、栄養



教諭・学校栄養職員の同じ職種同士が集まる専門部会では、自分たちで研修会を組み、衛生管理・食育・栄養管理などについて学びを深めています。社会へ出て、5年・10年と経つにつれて感じているのは、

栄養士として知り得ていなくてはならない知識や情報はどんどん増えていて、それらを読み解くには学生時代に培った知識や経験が一番の基礎であったのだと痛感しています。

## | 在学生へメッセージ

このような状況の中ですが、体に気を付けて、学生時代にしかできない事に時間いっぱい取り組んでください。

## マーケティングの考え方や手法を役立て 広報活動に励む

セイコーエプソン株式会社勤務 尾崎 由佳さん  
(松商短期大学部 2010年3月卒業)



### | 松商短期大学部を選んだ理由

当時の私は未だやりたいこと、就きたい仕事が明確ではありませんでした。また不慣れな県外で暮らすより、慣れ親しんだ県内で落ち着いて勉学に励んだ方が良いのではないかと、ということで県内進学を選びました。松商短期大学部の興味・関心に合わせて、自由に選択して学べるという多様性のあるカリキュラムがとても魅力的で、進学を決めました。

### | 学生時代に印象に残っていること

私は、マーケティングのゼミに所属しており、勉強の一環として国内の商業施設を



回ったことが印象に残っています。地元の学校に進学したこともあり、なかなか県外に出ることも無かったので、自身の視野を広げることにつながりました。また、資格取得では難易度に応じて報奨金が出るので、モチベーションが高まるとともに、費用を気にせず果敢にチャレンジでき、在学中に多くの資格を取得することができました。

### | 現在の業務内容

広報部門で、社内向けの広報活動(社内報制作)や、社外のお客様に当社を紹介するための会社案内の製作に携わっています。どちらの業務においても、よりエプソンを知っていただき、そしてさらにエプソンを好きになってもらうために、どのような情報を展開したら良いのか?を考え、実行しています。

業務においては、既存ツールの見直しや新コンテンツ・企画を立案する場面があり、ペルソナを設定したり、ポジショニングマップを作ったりして情報を整理していますが、

そういった点で、マーケティングの考え方や手法はとても役に立っています。また、ExcelやWord、PowerPointなど、一般的なオフィスソフトの使用は必須です。在学中に基本操作を習得できていたからこそ、入社後もスムーズに業務に入れたと感じていますし、今でも常に使うツールなので、習得したことはとても活かしています。

## | 在学生へメッセージ

もっと学んでおけば良かったと思うことはあっても、学んで無駄だったと思うことはありません。当時、美術や華道、アロマなどの授業も受けましたが、現在の仕事で活かしているかと言うと、少し違います。ただ、当時はその授業があったことで、息抜きになったり、それを楽しみに難しい授業にも挑戦できたように思います。また仕事に活かせていなくても、日常生活を豊かにする一つにはなっていると思うからです。就職後も環境変化や気持ちの変化があると思いますが、そうした時に、いろんなことを学んでいたら、それを自信に別のフィールドにもチャレンジできるのではないのでしょうか。

大変なことも多くあると思いますが、前向きにいろんなことを学んでもらえたら良いのではないかと思います。頑張ってください。

## 学生時代に学んだ販売士の知識を 満足度の高い商品提供に活かす

松本ハイランド農業協同組合勤務 松下 遼馬さん  
(松商短期大学部 2010年3月卒業)



### | 松商短期大学部を選んだ理由

商業にまつわる資格取得の勉強を継続して行うこと、見識を広げるために、様々な教養科目のある松商短期大学部を選びました。

### | 学生時代に印象に残っていること

英語教養をテーマとするゼミ活動や文化祭での模擬店、パーベキュー等団体行動を通じて集団で成し遂げる難しさや達成することの大切さ、人への愛情を学べたことです。

### | 現在の業務内容

JA松本ハイランド ファーム今井にて農

業資材の販売を行っています。学生時代に学んだ販売士2級の知識を、満足度の高い商品提供(棚割り、マーケティング、段階に合わせた適切な商品紹介等)に活かしています。また、ExcelやWordなどの知識を活かして事務作業の効率化を図り、より利用者の方との時間を増やすように心がけています。

### | 在学生へメッセージ

私の好きな言葉で、フランスの教育哲学者 ルソーが残した言葉に「生きるとは呼吸することではない。行動することだ。」という言

葉があります。社会人とは年齢、社歴ではなく、豊かな人間性と求められる技能を有している人材だと思います。そのためには目標を持ち、達成のために技能や経験を吸収し実践していくこと、そして後継へと繋いでいくことが重要だと感じています。

私も日々勉強中の身ではありますが、微力ながら在学生の皆さんの力になればと思います。今回筆を執らせていただきました。いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。



# 住吉廣行学長退任にあたって

学園に着任してから34年、2012年4月の学長就任から8年間、本学の発展に力を尽くされた住吉廣行学長が、9月30日をもって任期満了により退任いたします。

## 退任に際して

松本大学 学長 住吉 廣行

学園に着任してからこれまでを前半において、また全国的な高等教育の動向の中で本学が果たした役割を後半で振り返ることで、学長退任に際しての挨拶とさせていただきます。

## 赴任後の 学園発展の経緯

### 任務を背負って短大赴任 -短大教育と理論物理の両立を目指して-

情報処理技術者国家試験Ⅱ種の「現役合格者を」との要請を受け、1986年4月松商学園短期大学に赴任。以来34年半が経過。今では懐かしく思い出される関係者の皆さん、すでに鬼籍に入られた方も含め、大変お世話になりました。中野和朗、菴谷利夫両氏に次いで三代目の松本大学学長となりましたが、この間水城武彦学長候補の病死や菴谷前学長の交通事故による突然の死去に伴い、二度の学長代行も経験しました。

赴任後は要請に応え、情報教育に注力しました。春休み、1週間の集中講義で、理系の私にとっては馴染みのないCOBOL言語の厚い教科書を1冊読破。日頃の基礎学習もあり、着任後1年半で目標の合格者が出た時は、学生と一緒に感動したものです。

一方、東大原子核研究所・研究員時代の成果に依拠し、松商短大初の科研費に採択され、素粒子物理の研究にも精を出していました。3年後には呼び戻すと、上司の村岡光男先生（「赤毛のアン」の翻訳者村岡花子の娘婿）に言われていたからです。私のアクティビティを評価し、UCバークレー校、ランダウ研究所等への派遣など、一流の研究者仲間との活動を御支援下さった素粒子・原子核物理関係者には、その期待に応えられず、今でも申し訳なく思っています。

### 経営情報学科設立準備 -理論物理学から大学経営へ-

両刀遣いの生活が一変したのは、短大での経営情報学科の新設です。それまで文部省（当時）に対し、設置認可申請書の提出経験者はおらず、新学科の構想を練るのも初の経験でした。事務側では那須誠・小倉宗彦両氏が悪戦苦闘。私も他大学を調査し、本学学生に合った学修体系を構築し、正月返上で設立趣意書を推敲していました。短大の学科増ですら当時は二年審査で、文部

省との長丁場の交渉を乗り切った経験は、学園にとっても大きな財産になりました。

私が本学に残ったのは、当時の松崎一学長（本学校歌の作詞者、旧制松校で北杜夫に物理を教えたことでも有名）の影響です。新学科設立準備の頃、「住吉君、悪いけど僕が学長でいる間はここにいて欲しいんだけど」と頼まれ、先生の無類の人柄の良さ故に断れませんでした。今思えば、この時の返事が人生の分岐点になりました。

諏訪東京理科短大に経営情報学科を増設する動きを知り、早速ゼミ生が進学データや自分たちの選択行動を取り入れ、コンピュータシミュレーションを行いました。本学への影響は小さいとの結論を卒論に纏めました。この頃から大学経営どっぶりの生活になり、私の論文からも、複雑な数式と英語はすっかり影を潜めました。

### 大学教育を基礎に学園経営に -T高校S先生の一言-

学生募集で近隣のT高校を訪問したとき、進路指導責任者のS先生からかけられた言葉が、いつまでも私の心に残りました。「あなた方はこれまで多分、所謂エリートだけが相手の生活だったでしょう。しかし、私たちが貴校に送り出している生徒は、明らかに日本のマジョリティです。彼らを成長させられないなら、貴校の存在価値はないし、これからの高等教育についても語らないでいただきたい」という厳しい内容でした。

この問いかけが、当時最大のそして長期にわたり考え続けるべき私の課題となりました。結論から言うと、あれから30年弱、現在では全国にも知られる、地域社会と連携した「帰納的教育手法」が、私が見出した解です。2020年度版大学ランキング（朝日新聞出版社）の、学長アンケートによる教育面で注目する大学の項目では、全国8位に上昇しています。S先生への回答としては、一定のレベルには到達できたと感じています。

### 10年を要した四大設立

経営情報学科設立の交渉過程では、文部省から「あなた方はこれまで一体何をしていたのだ、他は臨時定員増を利用して将来



の経営を考えていたのに」。こうした苦言を糧にし、申請業務に関する様々なノウハウを獲得。その勢いで大学設立をと意気込みましたが、財政面から理事会の了承を得るのに苦労し、2002年4月に松本大学・総合経営学部を実現するまで10年を要しました。

松商創立100周年の席で有賀正松本市長の音頭取りで長野県、松本市と広域連合及び松商学園が資金を出し合う形で決着を見ました。この経緯から松大は「地域立大学」と呼ばれました。1992年をピークに18歳人口減少の中、この遅れは痛手でしたが、教職員による必死の募集活動が奏功し、この学部では現在に至るまで定員割れはありません。完成年度には観光ホスピタリティ学科が独立し、二学科体制となりました。大学設立時にはいずれ廃止と思われていた短期学部も、各種GP(Good Practice:2003年に始まり現在も形を変えて続く文科省の競争的資金)の採択やフィールドユニット制度の定着で好調に推移していました。



### 経営安定と総合大学化

しかし大学も単学部では安定経営に不安があり、ユニバーシティ化がその克服につながると考え、近県にはない「運動」と「食」を通じて健康づくりを目指す人間健康学部を構想しました。根本賢一・廣田直子両先生に意見を求め、書物を読み漁って、理想の学部像を趣意書に纏めました。慣れない厚労省との折衝（「誰この人、本気で来春開学を考えてるの？」等の厳しいささやきもありました。門外漢がプロ相手に少し奇抜な構想を自慢げに話したので、仕方なかったか。後に文科省ではGPに採択され、溜飲を下げましたが、）や適任の人材探しは難航。それだけに着任いただいた、先生方への思い入れも一入です。完成年度には大学院「健康科学研究科」も立ち上がりました。

2017年度には、松大3番目の学部として、



近県には無い私立の教育学部を設置しました。地域の要請を踏まえ、特別支援教育を取り込んだのも特徴です。これにより、2014年採択のCOC (Center Of Community) における地域づくり構想[まちづくり(総合経営)、健康づくり(人間健康)、ひとづくり(教育)]を実現する学部が出揃い、松本大学も入学定員こそ多くありませんが、3学部5学科を擁する総合大学へと成長しました。さらなる充実を目指し、現在も新たな大学院構想や文理融合・分野横断型の教育・研究機能の強化等も練られています。

## ■ 学部・学科増設等と関連する建物・施設の拡充

1986年	松商学園短期大学商学科専任講師として赴任: コンピューター施設の拡充
1992年	経営情報学科増設: 3号館、図書館
2002年	松本大学総合経営学部創設: 4・5号館、フォレストホール、野球場、多目的グラウンド、弓道場、第1体育館、第1学生駐車場
2003年	松商短期大学部特色GP採択(以後次々と競争的資金獲得)、フィールドユニット制導入: 研究室棟増設
2006年	総合経営学部に観光ホスピタリティ学科増設
2007年	人間健康学部(健康栄養・スポーツ健康学科)開設: 6号館、第2学生駐車場
2011年	松本大学大学院健康科学研究科(修士課程)創設: 7号館、総合グラウンド
2017年	教育学部開設、松商短期大学部4学期制導入: 8号館、第3学生駐車場、第2体育館改築
2020年	大学院等増設計画、松本大学学長退任: 9号館

## 全国的な動向の中で 本学の果たした役割

### これまでの教育に 内在する問題点の認識

最近でこそ、中教審、教育再生実行会議など、こぞって「独自性」「創造性」など自ら考える力の育成が課題だと強調していますが、実際は失われた20年と言われるように以前からの大問題でした。戦後の追い付き追い越せの時代は、同じ目標に向かって横並び重視の考えが、迅速な復興に役立ったのでしょうか、最先端を走る運命を背負ってからは、試行錯誤しつつ開拓者精神を発揮するのが宿命です。しかし、長年染みついた教育システムの変更それ自体が、創造性を要する難題となった感があります。

「正解の決まっている試験問題をこなし、多くの分野で、間違いを減らすことが出来る人は、正解の定まっていない課題に対しても的確な対応が出来るはずだ」という考え方の限界です。「必要条件(要求通り正確にできる)は満たしても十分条件(独創性を発揮できる)は自動的に満たされるわけではない」のです。

どうすれば対峙できるのか。「未知の課題の解決に取り組む中で、必要となる知識・技術を補充しながら、徐々に理解を深め、試行錯誤を繰り返しながら本質に迫るという考え方」を提示したのです。「やらされ感のある学びでは成長に限界があり、自らの興味に基づき『知りたい、どうしても理解したい』という意欲ある姿勢とそれに応えた教員側の情熱や創意工夫無しには満足できる教育活動は実現できない」という思いが根底にはありました。

それには、学生に興味・関心や学びの動機付けをいかに実現できるかが最大の関門です。活字離れ世代だからといって、例えばTVの映像を見せ、そこから問題意識を持ち

なさいといっても、大量の予備知識が前提となっており、学生が自らの課題と認識するには難しい場合も多い。教員の問題意識をストレートにぶつけても同じことです。

### いくつかの実践から学ぶ -未知を概知に変える営み-

ではどうすれば良いのか?こんな時、①本学での白戸洋先生の取り組みからは、生き生きとした活動を通して学生が成長する姿を間近で見、②金沢工業大学の基礎的な勉強にも励みながら、ロボコン勝利に向け改良・改善に真摯に取り組む学生の姿、③今泉博先生のどんな生徒も自由に発言し、教室全体を深い理解に導く見事な授業展開とクラス経営、②③には書物を通して出会った。

理系の金沢工大がロボットなら、社会科学系の本学では何がそれに対応するのか? 地域社会しかない! 地域(アウト・キャンパス)で見聞する課題は学生にも理解が容易である内容が多い。ここから「なぜ」「どうしてこうなるの」から始まり、イン・キャンパスにおける「授業」「仲間との討論」「図書館での調査」などを経て再度地域へ。こうしたインとアウトの往還を繰り返すことで、課題の本質へと迫る。理解が進めば解決策を考え実行し、その成果が世に問われます。

これは研究者の研究活動と本質において何ら変わりありません。それはともに「未知を既知に変える」という営みだからです。課題解決型、アクティブ・ラーニング等という言葉の裏には、実は学生にも「研究的要素を持った学びの展開を経験させる」という要求があると見抜きました。このときの課題は失敗を伴う教育活動の重要性です。これには今泉先生の取り組みに学ぶことが多くありました。また私が育ってきた素粒子論グループが持つ「年齢や職位に関係なく何でも自由にものが言えてこそ本質に迫ることが出来る」という考え方や雰囲気の影響を与えていたと言えます。



### 理論と実践の統一 -成果を示す松本大学-

私が松商学園に赴任し、途中で理論物理学の道を離れてからは、研究の中心は「地方の短大・大学における教育」を巡るものとなりました。これに関しては、2003年実施の「特色GP」が、長野県内で唯一採択された際に、他大学からも注目を浴びるようになった「帰納的教育手法」の論文発表で一つの結論を世に問うたのです。この手法の開拓は、先に述べたS先生への回答でもありましたが、自分自身が研究者として世界を相手に活動する中で感じた、日本の教育の弱点をどう克服するかにも共通するテーマでした。その意味では、私の研究者としてのキャリアも反映しており、現在の大学教育で声高に叫ばれている諸課題を言葉の上だけでは無く、具体的に「こういうスタイルで実施すれば実現できる」と示しています。その意味では現在の教育課題を解決する全国レベルでの一つの典型例を示せており、それが全国8位というランクにも現れていると思います。

いくら教育手法が理論化されたとしても、それを実践できる教職員や学生がいて、その成長が証明できなければ、絵に描いた餅でしかないでしょうが、本学は目覚ましい教育成果を上げてきたと胸を張って言えると思います。こうしたことを背景に私大協でも、地方創生小委員会の委員長として地方大学の要望をまとめる役割も果たしました。こうした全国に誇れる成果を語れていることが、退任に当たっての率直な気持ちです。

# (株)池の平ホテル&リゾートと連携協定を締結

副学長・松大ヘルスプロモーション事業担当 等々力 賢治

8月6日、株式会社池の平ホテル&リゾートと松本大学は、双方の展開してきた、宿泊者や各種団体を対象とする「健康増進プログラム」と「松本大学研究ブランディング事業」など、健康づくり関連事業のさらなる発展を目指して連携協定を締結しました。同社と本学は、丁度10年前に協定を結び、同

ホテルでの宿泊者に対する運動指導の実施と、そこでの学生への実習機会の提供といった形で、特色ある取り組みを進めてきています。それらは、たびたびマスコミに取り上げられ、広く知られているところです。

今次の協定締結は、そうした実績を踏まえた上で、両者の健康づくり関連事業を、

「出張型特定保健指導」と「松大ヘルスツーリズム」という2つの取り組みによっていっそう発展させることを企図したものです。前者は、本学の所有する「体力測定車」を導入して対象者のいる企業などに赴き、搭載する機器類で測定したデータを分析し科学的根拠に基づく運動プログラムを提供しようとするものです。また、後者は、本学での体力測定や健康関連講義の受講、学生レストランでの昼食の提供など(スケジュール例参照)、本学の有する人材や施設・設備などを活かした他に例のない特色あるヘルスツーリズムを、主として都市部の高齢者を対象に提供することを計画しています。本学は、そうした事業について、地域健康支援ステーションが今春から進めている「松本大学研究ブランディング事業」の後継である「松大ヘルスプロモーション事業」の一環として取り組みます。

協定調印式は、同社の矢島義弘代表取締役社長と本学の住吉廣行学長はじめ7名が出席して執り行われましたが、民放4社のテレビ局を含め多数のマスコミ関係者の取材もあり、私どもが構想している取り組みや事業に対する関心の高さをうかがわせるものでした。本格的な実施は来年度以降を見込んでいますが、現下のコロナウイルスの感染拡大状況を踏まえると、種々の困難も予想されます。とはいえ、両者ともに期するものがありますので、慎重かつ大胆に進めていきたいと考えています。ご期待ください。

## スケジュール例 [2泊3日]

時間	1日目		2日目		3日目	
	内容	場所	内容	場所	内容	場所
7:00			朝食	池の平ホテル	朝食	池の平ホテル
7:30			出発準備			
8:00	移動		池の平ホテル出発	バス移動	チェックアウト	池の平ホテル
8:30			松本大学へ移動			
9:00			体力測定		白樺湖ウォーキング(散策)	
9:30			握力・柔軟性・持久力・脚筋力等			
10:00			昼食		運動実技復習	
10:30	学食(学食)	まとめ講座				
11:00	昼食は移動中に		栄養講座	松本大学(写真参照)	自由昼食	
11:30			体力測定結果説明			
12:00	オリエンテーション	池の平ホテル	運動講座	池の平ホテル	池の平ホテル出発(終了)	
12:30			運動実技			
13:00			筋トレ・フォームチェック			
13:30	身体計測	池の平ホテル	松本大学出発	池の平ホテルへ移動		
14:00	血圧・体組成・胸囲等					
14:30	チェックイン	池の平ホテル	夕食(バイキング)	池の平ホテル		
15:00	フリータイム					
15:30	夕食	池の平ホテル	フリータイム	池の平ホテル		
16:00	フリータイム					
16:30						
17:00						
17:30						
18:00						
18:30						
19:00						
19:30						
20:00						



体力測定



昼食(学食)



体力測定結果説明



栄養・運動講座

# 旨味が強く、アミノ酸補給に最適な「本わさび茶」の開発

健康栄養学科 准教授 矢内 和博

わさびの葉は、芋や茎に比べると活用方法をあまり見いだせておらず、ほとんどが廃棄される部位でした。その理由は、食べて苦いこと、洗浄が大変なことなど、無理に使わなくても…というものでした。そこで味がだめなら色と香り、葉としての体裁が利用しづらいなら細かくしての活用方法を考案し、2011年に「わさび葉ペースト」を開発しました。この時、このペーストをわさび生産者が製造できるようスキームに落とし込み、単なる商品開発にとどまらず地域経済の循環を重要と考えました。商品開発は容易、販売にこぎつけるのは困難であることから、経済を回していくことが地域貢献と考えています。

今回の有限会社あづみ野食品との共同による「本わさび茶」開発にあたっては、わさびの葉の活用を見直し、いろいろと検討しました。学生時代、埼玉県でお茶栽培を

家業とする友人がおり、5月と8月は毎週末アルバイトに行っていました。人生なんとも面白いもので、その時のお茶の刈り方、製茶の方法を働きながら学ばせていただいた経験が今回の商品化のきっかけになりました。わさびの葉をお茶にしてみようと、お茶と同じ工程でわさび茶を作り飲んでみたところ、1.苦くない、2.旨味を感じる、3.悪くないという感想を持ちました。また、アミノ酸分析をした結果、緑茶と比較し昆布の旨味成分であるグルタミン酸が約2.5倍、ヒトの体を構成するアミノ酸の種類総量は4.4倍にもなることが分かり、緑茶より旨味が強く、アミノ酸補給に最適なお茶になると確信しました。地域が連携し、商流を発生させ、関わったみんなが利益を分けあう仕組みである6次産業化を基軸とした松本大学地域活



性化モデルをもとに、今回の開発には製茶のメーカーである株式会社黒姫和漢薬研究所にもご参加いただき、茶の最終加工とティーバッグタイプでの最終製品化をご担当いただきました。また、原材料の供給は長野県最大のわさび生産を誇る大王わさび農場の全面協力をいただきました。こうしたネットワークをもっと発展させ、地域活性化の中心的な役割を松本大学が担う形をアピールしていきたいと思っております。

大王わさび農場、松本駅など県内のJR東日本主要駅の売店、長野道サービスエリアなどでお買い求めいただけます。ぜひ新商品をお試しください!





# 学部3年生の就職支援が 本格始動!

キャリアセンター 課長 中村 高士

新型コロナウイルスの影響に伴い、前期の授業はオンラインでの実施となりましたが、就職活動の前倒し傾向に変化はなく、早期からのキャリアデザインが大変重要となっています。3年前期の授業では、キャリアデザインに関する内容をオンラインで展開し、自己分析や企業業界研究を進めました。



## 地元行政の役割と教員についての理解を深める 「業界研究オンラインセミナー」

民間企業へのインターンシップ参加者数は年々増加しており、キャリアセンターでもより一層支援に取り組んでいます。コロナ禍の中で、オンラインを中心とする新しいインターンシップの形が模索されており、これまで以上に業界研究や企業研究が重要になってきています。就活支援サイトを中心としたオンラインイベントを毎週学生と共有し、例年の2倍近い学生がオンライン説明会へ参加しました。

一方で行政公務員や教員を志望する学生も増加傾向にあるもの

の、民間企業のような説明会が少なく、早期に仕事を理解する機会がこれまでほとんどありませんでした。そこで今回、松本市役所および安曇野市役所の人事担当者にご協力いただき、市役所の仕事理解を深めるオンラインセミナーをキャリアセンター主催で開催しました。計120名の学生が参加し、地元行政の役割を学びました。

また、前期の教育実習等が延期されていることを受け、教員希望の学生を対象としたオンラインによる教員OB・OGオンライントークライブを開催しました。現役の小学校教諭、養護教諭、高校教諭に協力いただき、身近な卒業生だからこそ聞ける質問や、コロナ禍での授業について生の声を聞くことができました。

## WEB面接体験と先輩学生のトークセッションから学ぶ 「夏季就職対策講座」

前期キャリアデザインの授業内容を踏まえ、各自が作成したエントリーシートに基づいて夏休み期間中に、本番を想定したWEB面接の体験と、先輩学生の内々定者によるトークセッションなどの「夏季就職対策講座」を学部3年生が受講しました。

WEB面接体験では3名1組の集団面接体験をし、エントリーシートへの添削も行いました。また、内々定者のトークセッションでは採用試験に向けた準備や、インターンシップ体験などの具体的な話に参加学生は耳を傾けていました。

冬にも就活直前の対策講座を予定しており、コロナ禍であっても学生一人ひとりが自分自身のキャリアを確実に形成できるよう、今後も支援を継続していきます。

## 地域連携の新しい試み「けやきっ子ひろば」を開催

観光ホスピタリティ学科 学科長・教授 白戸 洋

松本市渚の松林邸には、樹齢600年を超えるけやきの大木があり、7年前から観光ホスピタリティ学科の学生がけやきを活かした地域づくりに取り組んでいます。活動の一環として、夏休みに近所の子もたちを対象に、ケヤキの木陰で自然体験活動を行う「けやきっ子ひろば」を毎年開催してきました。今年も8月7日に予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止となりました。しかし、子どもたちや保護者から「外で体を動かして遊びたい」という強い要望があり、学生たちによる「リモートけやきっ子ひろば」を開催しました。



けやきの太さを計る

感染予防のため、全体で集まる開講式と説明会は遠隔で行いました。参加者は家族単位で松林邸を訪れ、あらかじめ庭に隠しておいた学生手作りのクイズを見つけもらい、松林さんにアドバイスをいただきながら答えていくという企画です。クイズはけやきの太さを計って答えるような自然や樹木に関する問題と、地域の歴史に関する問題が出題され、親子で相談しながら答えてもらいます。クイズの問題探しの合間には庭を探検し、セミのぬけがらやキノコなどを発見して自然に触れる機会となったようです。

コロナ禍によって、学生の地域での活動は困難に直面しています。しかし、自粛の期間に家に一人籠った経験から孤独を体験し、人と人をつなぐことの大切さを実感した学生は、様々なハードルを乗り越え、若者らしいアイデアによって新しい地域とのつながりを築いています。



## 上土町的话题を発信する 情報誌「あやめ」発行

観光ホスピタリティ学科白戸ゼミでは、上土町を拠点に観光やまちづくりに取り組んでいます。

地域に明るい話題を届けたいというゼミ生10名の思いから、上土町の飲食店の紹介や地域の話題を載せた情報誌を6月から2回発行しています。

情報誌のタイトルは、「メッセージ」「よい便り」といった花言葉にちなんで「あやめ」としました。このあやめは「カフェあげつち」でご覧いただけます。

# 地域連携活動

## 地域健康支援ステーション

### 悪いばかりではない！ コレステロールがテーマの健康セミナー

8月19日、20日の2日間、塩尻市のヘルスアップ委員会からの依頼により、「コレステロール」をテーマに講座を実施しました。ヘルスアップ委員会が取り組む健康セミナーの一貫で、両日併せて71名の地域の方々に受講いただきました。

生活習慣病との関連が指摘され悪いイメージのあるコレステロールですが、生命活動には欠かすことのできない重要な成分であることを具体的に知っていただき、高コレステロール血症を含む脂質異常症や動脈硬化を予防するための具体的な生活習慣改善のポイントについて、図解を取り入れながらお話させていただきました。

脂肪肝との関連についての質問が出されたり、コレステロールは低すぎても良くないとは知らなかった、などの感想をいただき、参加者の皆さんは熱心に学ばれていました。

(管理栄養士 飯澤 裕美)



### 体力チェックをしてみよう！ 松本市での「体力検診」を実施

松本市内の各保健センターに出張し、体力検診事業を実施しています。この体力検診は、松本市が実施する特定健診に付随しており、検診終了後、希望者は体力測定や運動指導を受けられるものです。体力検診を希望された方には、体組成計測や脚筋力などの計測後に、データに基づき運動処方と個別指導を行います。



この体力検診の参加者は、運動が苦手、運動は疲れるから嫌い、運動のやり方が分からない、といったどちらかといえば運動習慣のない方々が多く参加されています。特定健診のついでに「体力チェックをしてみよう！」という軽い気持ちで受けた体力健診から、「自分の体力レベルが理解できた」「効果的な運動法を教えてもらえてよかった」「運動を習慣化しようと思った」などの感想を多くいただいております。

新型コロナウイルス感染予防で家に閉じこもりがちになり、中高齢者にとっては身体活動量の低下による健康への影響が危惧されます。今年は計12回の体力健診を予定していますが、一人でも多くの方に「健康づくり」のきっかけを掴んでいただけたら幸いです。

(健康運動指導士 近藤 壮太)

## 地域づくり考房「ゆめ」

### 地域を知ってもらうことを目的とする「ONE TEAM プロジェクト」始動

新型コロナウイルスの影響により、学生が地域に出る活動ができなくなりましたが、8月22日に松本市四賀地区で「ONE TEAMプロジェクト」の活動を実施することができました。今年度から始まった「ONE TEAMプロジェクト」は、地域活動へ取り組む第一歩として「地域を知ってもらう」ことが目的です。今回は10名の学生が参加し、1年生にとっては初めての「ゆめ」での活動となりました。学生も教職員もこの日を待ち望んでいたため、無事に開催できたことを嬉しく思います。

当日は、1ターンで農業を営む四賀梶原農園での農作業体験と、梶原ご夫妻の農業への思いや地域住民との繋がりの大切さを伺いました。また、日本で初めての滞在型市民農園を実現させた「四賀



クラインガルテン」を訪れ、四賀むらづくり株式会社代表取締役の金井保志氏よりクラインガルテンの成り立ちや地域とのかわりについて教えていただきました。



学生からは、「種をまいた野菜の収穫に行きたい」「クラインガルテンのゲストハウスで合宿をしたい」「人との関わりを大切にしていきたい」等、前向きで明るい言葉が寄せられ、今回できたご縁を継続させていきたいと感じました。自然の空気や人のあたたかさを体感し、そこでの暮らしを想像することは、地域に足を運ぶことで得られると思います。次回も学生は地域の皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしております。

(地域づくり考房「ゆめ」 中島 麻衣)



## 最近の活動から

### 88(やまんば)プロジェクト2020始動

松本大学の教育手法である地域と連携した実践型教育は、地域社会の現場で学ぶ授業形式「アウトキャンパス・スタディ」を取り入れ、学生の主体的な学びを養成します。清水ゼミナールの学生が中心となって実践する「88(やまんば)プロジェクト」は子育ての神様として慕われる山姥伝説を地域のお宝として捉え、長野市「道の駅」中条を拠点とした地域活性化を検討する課題解決型学習(Problem Based Learning)プログラムです。また複数のプロジェクトを立案・運営するプロジェクト型学習(Project Based Learning)プログラムでもあります。



清水ゼミ3年百瀬愛さんデザインのポスター「ジビエ豆乳スープ」の考案、プロ

Microsoft Teamsでの遠隔授業が続く中、万全の対策をとって7月4日に「アウトキャンパス・スタディ」を実施しました。地域特産物である西山大豆を使った商品開発「笹豆乳もち」や長野市ジビエ加工センターのイノシシ肉やシカ肉を使った「ジビエ豆乳スープ」の考案、プロ



モーションの一環として「道の駅」中条のイメージキャラクター「ナカジョニー」の考案とAR(拡張現実)動画制作、「ナカジョニーのうた」CD制作、「ナカジョニー体操」DVD制作、「ナカジョニー」イラスト制作、第4回「スタンプラリー」企画、第2回「川柳コンテスト」企画、と数多くのプロジェクトが立ち上がってきました。

2015年度より開始された松本大学×「道の駅」中条×国土交通省連携企画「88プロジェクト」も今年で6年目となります。3月には、国土交通省が主催する「道の駅」学生コンテストにおいて「奨励賞」を受賞しました。令和元年台風第19号や新型コロナウイルス感染症の影響もあり厳しい状況ですが、「道の駅」中条の下内光雄施設長はじめ「道の駅」中条の皆様のご協力のもと、マーケティングの理論と実践の融合を目指し、学生は「できることを、できるかたちで、できる範囲で」活動を継続中です。応援よろしくお願いたします。

(総合経営学科 学科長・教授 清水 聡子)

### 学生企画のフィジカルディスタンスを考慮した健康教室!



生坂村での活動は地域住民を対象とした学生企画による健康教室で、今年で8年目となります。例年5~11月まで開催している教室も、新型コロナウイルスの影響で延期が続いていましたが、7月に入りようやく開催することができました。安全面に配慮し、安心して楽しめる教室を行うためには、机上で学んだことを活かしながら今までの課題にも向き合うことが求められます。そうして作成された企画は、新聞紙を用いて距離を保つゲーム性を持たせたストレッチングから始まりました。終始笑い声に包まれ、参加者が楽しく汗をかく姿に、学生たちは手応えを感じている様子でした。

昨今、健康づくりのための教室は各地で数多く開催されています。その参加率を向上させるための条件は複数挙げられますが、時には手を取り合い、近くに寄ってコミュニケーションを図ることはもちろん効果的です。しかしながら、これらを排除し、フィジカルディスタンスを考慮した内容を提案することは今後もしばらく求められます。今年の4年生の力のみせどころと期待しています。

(スポーツ健康学科 准教授 田邊 愛子)

### 学生ボランティアが学習支援 小学生と共に夏休みの宿題に取り組む

8月3日及び4日に新村公民館で行われた公民館寺子屋に、総合経営学部と教育学部の学生ボランティア3名と教員1名が参加しました。地区の小学生がのべ25名程度参加し、夏休みの宿題に取り組みました。参加した学生は、子どもたちが自分のペースで集中して取り組むことができるよう、地域のボランティアの方たちと一緒に声かけなどをしました。さらに、レクリエーションプログラムも担当させていただき、みんなでエコバッグの制作を行いました。7月からレジ袋が有料化し、環境問題への意識も高まっているので、完成したエコバッグを家庭でもぜひ活用してほしいということでこの企画を考えました。エコバッグにはオクラやレンコンなどの野菜スタンプで模様付けをしました。子どもたちの発想は非常に素晴らしく、世界に一つだけの素敵なエコバッグが完成しました。待ち時間でくるくるレインボーの制作もを行い、こちらも好評でした。

新型コロナウイルス感染症への対応で午前中だけの開催だったため、あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、久しぶりに地域の方々と一緒に活動することができ、有意義な時間となりました。なかなか大学に来ることができない1年生の学生も積極的に参加してくれ、貴重な機会となりました。

(学校教育学科 専任講師 大蔵 真由美)



# 創立から67年の長い歴史と伝統の中で安定した実績を誇る「松商短大」の学び

目に見えないウイルスは、私たちの仕事や暮らしに大きな影を落とし、経済活動にも短期間で甚大な影響を与えました。高校生は経済的な理由から4大進学の断念、求人減少を見込んだ就職先送りの傾向にあります。そのような状況のなか、短大への注目が高まってきています。松商短期大学部では、多くの資格が取得できるだけでなく、ビジネスシーンでも必要とされる社会人基礎力も身につけられます。前期はオンラインを中心とした授業になりましたが、最近の短大での学びや活動についてご紹介いたします。



## 前期オンライン授業を終えて

### case ① 試行錯誤を重ね理解を深める銀行論

銀行論の授業は、金融の仕組みや銀行の役割・業務を学習する内容で、私が元銀行員であることから実務の話やエピソードなどを混ぜ込んでいます。

オンライン授業での基本的な進め方は、教科書をデータ化しパソコン画面に映し出して、ポイントを読みあげて線を引いたり、動画を活用して解説した内容のメモをとってもらいました。そして、毎回課題を課しました。

例えば、『キャッシュレスの進展』の内容では、「なぜ、日本と米国ではキャッシュレスが普及しないか、要因を述べてください」、「金融機関の種類」の時は、「銀行と信用金庫の違いを述べてください」といったものです。

授業を進めるうえで困ったのは、「画面に映しているパワーポイントのスライドを学生が書き終わったかわからないこと」「学生が興味を持って聞いているかわからないこ

と」でした。学生からは「メモするスライドとメモしなくてよいスライドがわかりにくい」「プラス1分メモする時間をとってほしい」「銀行実務の話と動画が興味深い」という意見・要望が多く寄せられました。これらに対応すべく、メモをとってほしいスライドには赤色の二重丸を付け、スライド切り替えの時間を書き終わったと予測する時間をプラス1分長くし、銀行実務の話と動画を多く活用してさらにそれをいつでも再生できるようにGlxにアップロードしました。

このように、慣れないなかTeamsとGlxを活用しながら、初めのうちは教員・学生ともに不安を抱いていましたが、特段トラブルもなく、快適な授業となっていくように思われます。

今回オンライン授業で試行錯誤を重ね、対面授業でも活用できる授業改善のヒントを得ることができました。今後の授業に、こうした経験とノウハウを有機的に活かしていきたいと思います。

(経営情報学科 教授 飯塚 徹)

### 金融機関への就職者が増加

今春、松商短大から金融・保険業界に26名が就職(前年度より8名増)

### 金融スペシャリストプログラム

1年次の1、2学期でファイナンシャル・プランニングの基礎を学び、3学期で受験対策をして就職活動が始まる前にファイナンシャル・プランニング技能検定3級の合格を目指します(2020年1月の試験では、8名が合格)。また、金融機関に内定した学生は、金融機関では必須となっている証券外務員の資格対策の授業を受け、卒業までに取得することを目指します(2019年度は7名が証券外務員一種試験に合格)。将来、就職後に必要とする資格も含めて学生時代に取得することが、高い就職実績につながっています。

### case ② 主体性や積極性、自立や責任という生きる力が試される

私の図書館概論の科目では、授業の最後に毎回、授業で考えたことなどを書いて提出してもらっています。この提出物において、授業範囲の内容でありながらも、私が授業でまったく扱わなかった内容について書かれてくるものが複数ありました。今までに無かったことであり、何が起きたのかと驚きました。

しかしそれは、当日の教科書を読みこんであるからこそ書ける内容でした。オンラ

イン授業ゆえの、自律した緊張感が見えない先から心地よく伝わってきました。

授業中の問いかけに対しても、周りを気にする必要が無いからか、教室での授業より積極的な印象を持ちました。こうした学生は、たぶん教室でも積極的にかかわってくる学生なのかなと想像してしまいます。

一方で、教室ならば、発言せずにいる学生の様子も観察し対応できますが、オンラ

インではそれが難しくなってしまいます。

オンライン授業は、私たち教員にも試練ではありますが、本当に試されているのは学生たちなのだろうと感じています。主体性や積極性、自立や責任という生きる力を、私たちに見えない向こうで試されているのだと感ずるのです。それをどうやって発現させ育てていくか。オンライン授業に求められている試練でありやりがいでもあると思っています。(商学科 教授 伊東 直登)

## 学友会活動について

制約あるところに工夫が生まれる…そんなふうな思いつつ、この状況下で学友会活動への支援を試みています。松商短期大学部学生委員会としてはこれまでのところ、学友会長と毎週オンラインで意見交換を続けてきました。学生大会で予算案を承認してもらわないと来るべき行事のための予算執行ができないため、就職支援の時間を少しいただいて予算執行の執行部への一

任を承認してもらうことだけではありません。10月中旬には大学祭、11月下旬には短大部体育大会などが予定されています。まずは後期開始とともに何かのイベントで盛り上げてほしいのではないかと提案をしているところです。しかし、盛り上がり過ぎて密になるのもいけないという制約があるだろうとも予想されます。

8月上旬現在ではコロナ第二波のような



感染拡大も見られ、後期から学生たちが通学できることを祈るばかりです。

(学生委員会 松商短期大学部主任 川島 均)



## 自国の文化、価値観を絶対だと思わない姿勢を身に付ける

私の専門は日本語教育学、社会言語学です。大学での専門は国文で、大学卒業後はしばらく国語の教員をしておりました。国語の教員でありながら、母語である日本語というものの輪郭がぼんやりと見え、隔靴搔痒の感を抱いておりました。その時出会ったのが、日本語教育でした。渡米をし、3年半ほど日本語教育に携わる機会を得て、日本語を他の言語と比較することで、日本語の輪郭がはっきり見えてきました。日本語を知るには、日本語を外から見る必要があったのです。また、同時に様々な国の出身の人々と交流する機会もあり、言語というものが、属する文化に深く影響を与え、また与えられていることを実感しました。

私のゼミは国際交流がテーマです。学生には、「自分の国の文化、価値観が絶対だと思わない姿勢」を身に付けてほしいと思っています。このことは、私が3年間の海外生活から学び、「信念」ようになったこと

です。ゼミではこの姿勢を、実際の交流を通して学んでほしいと考え、留学生との交流を促すような活動をしています。松本大学には、交換留学生も含め、10人余の留学生が、主にアジアから来ています。中国、韓国、台湾、本年はベトナムからも留学生がやって来ました。な

かなか交流のレベルまでいかず、表面的なつきあいで終わってしまうこともあります。摩擦を経ながらも、いい人間関係を築けることもあります。関係の深浅はあれ、異文化との接触は多くの日本人学生にとって、新鮮で刺激的なものようです。この異文化初心者学生の学生たちが、目を世界に向けて、世界の中の日本の位置を認識しながら、これからの人生を歩んでいってくれることを期待しています。

【経歴】信州大学大学院言語文化研究科修士課程修了／ハワイ大学東アジア言語・文学部修士課程修了 College of William & Mary, University of Richmond, 信州大学等の非常勤講師を経て現職 【専門分野】日本語教育学、社会言語学 【研究課題】日中配慮表現の比較／地域語の研究



## 資格取得に向けて学部の取り組みから…

### ▶人に寄り添い、人の暮らしを支える 社会福祉士を目指して

観光ホスピタリティ学科 専任講師 今村 篤史

観光ホスピタリティ学科では所定の科目を履修し、卒業することで、相談援助の専門職である社会福祉士の国家試験受験資格を得ることができます。その課程においては、社会福祉士として求められる価値や倫理、相談援助における理論や技術、福祉サービスにかかる知識などを学ぶ科目に加え、実際の福祉現場において180時間以上の実習が課せられています。実習先は、行政や社会福祉協議会、障害福祉サービス事業所、介護保険

施設、老人福祉施設など多岐にわたります。学生たちは配属された実習先について、その機能や役割、サービス利用者の現状など事前に研究を行い、その上で実習における自らの目標と具体的な課題を設定し、実習に臨みます。学生にとっては、はじめての場所、はじめての体験であり、毎日が緊張の連続です。しかし、学生たちはこれまでの学びをもとに、人に寄り添い、人の暮らしを支える社会福祉とはどういうことなのかを必死に学んで



社会福祉協議会での実習の様子

います。それは、机上だけでは学ぶことのできない、リアルな現場からの学びです。福祉サービスを利用している方やそのご家族、地域の人たち、そして実習先の職員の方々、多くの人との出会いと関わりによって学生たちは大きく成長していきます。秋には、実習を終え、一皮も二皮もむけた彼らに会えることを心待ちにしています。

### ▶健康栄養学科4年生が病院で現場体験 オンラインによる臨地実習Ⅱ報告会

健康栄養学科 准教授 藤岡 由美子

臨地実習は、学内の授業で習得した成果を社会で活かす実践トレーニングとして、実際に管理栄養士が活躍する現場で業務を体験する機会です。病院で学ぶ臨地実習Ⅱは3年次の2～3月にかけて行います。



しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により実習の中止・中断が相次ぐ中、代替病院の受入拒否を掻い潜りながら無事62名の学生が実習を修了しました。中断した2名を含む6名は8～9月に実施予定ですが、最後まで予断を許さない状況です。

授業のオンライン化により、例年開催してきた実習生と下級生の対面によるガイダンス形式の報告会は実施できませんでした。そこで、29チャンネルのリモート会議システム

を立ち上げ、オンラインによる臨地実習Ⅱ報告会を6月29日に実施しました。各チャンネルには62名の実習生を配置し、下級生82名と健康栄養学科の教員が何名でも参加できるように設定しました。発表方法や内容については改善の余地がありましたが、初の試みにも関わらず、教職員の尽力と学生の対応力により、成果を挙げることができました。

終わるや否や次年度の準備や指導が始まり、息をつく間も無い現状ですが、医療従事者に敬意を表し、実習生の安全確保と実習内容の充実のため、担当教員一同一層気を引き締めて取り掛かります。

## 1年間の交換留学を終えて ～交換留学生送別報告会～

本学での1年間の交換留学を終えて8月に台湾へ帰国する留学生2名の送別報告会が7月22日に開催されました。義守大学応用言語学系の蘇彦彰(スーイエンチャン)さんと林沂蓓(リンイーペイ)さんは昨年9月に来日し、国際寮に居住しながら留学生を送りました。台風による大学祭中止や、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業に切り替わるなど通常の留学生活が送れない状態でしたが、上達したきれいな日本語で留学生活の思い出を報告しました。いつかは家族と一緒に再び松本大学を訪れたいという言葉のもとに、国際交流センター運営委員全員で交換留学生が無事に帰国されることを祈念しました。



(国際交流センター 関澤 一洋)

## 松本市から支援米を寄贈いただきました

松本市 人権・男女共生課から、本学の留学生に60kgのお米を寄贈いただきました。このお米は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により様々な社会活動に影響が出ている中、ある松本市民の方から「困った時こそお互い助け合うことが大事。外国からきている留学生に食べていただきたい」との申し出により寄贈されたものです。国際交流センターではこの寄贈に感謝申しあげ、全留学生に配達しました。



(国際交流センター長 益山 代利子)

## スポーツ健康学科卒業生の卒業論文が国際科学誌に掲載

スポーツ健康学科・2018年度卒業生、吉江俊浩さん(現大学院生)、齋藤千春さんの卒業研究を国際科学誌「Laboratory Animal Research」に発表しました。その概要についてご紹介いたします。

運動などの生活習慣によって生じた遺伝子変化は、骨格筋に残存し、将来における運動効果獲得や病気のなりやすさに影響する、いわゆる「マッスルメモリー」となります。これまでの研究では運動習慣による遺伝子変化を主に追究してきましたが、その他の生理刺激による影響は調べていませんでした。そこで吉江さんと齋藤さんは卒業研究において、若齢期の高脂肪食摂取が加齢に伴う身体機能変化にどのように影響するかをマウスを用いて研究しました。

発育中のマウスに高脂肪食(60% kcal)を2カ月間摂取させた後、通常食に戻し、加齢に伴う代謝変化を1年間経時的に調べました。通常食のみを摂取したマウスでは、加齢に伴い糖尿病に似た耐糖能低下が徐々に進行しました。しかし驚くべきことに、高脂肪食摂取したマウスでは、このような耐糖能低下が抑えられるという結果が得られました。骨格

筋では、高脂肪食摂取によって脂質代謝に関係する遺伝子の発現が増加しましたが、このような遺伝子の発現が加齢後も増加したまま残っていることも明らかになりました。興味深いことに、これら脂質代謝に関係する遺伝子は、持久性運動によっても発現が高まることが知られています。持久性運動は骨格筋において脂質を主に利用しながら行うことから、脂質代謝亢進という観点では高脂肪食摂取と持久性運動は共通の刺激であったと言えます。

遺伝子の発現しやすさには、DNAが巻き付くヒストンというタンパク質への化学修飾が重要な役割を果たします。高脂肪食摂取したマウスでは、遺伝子発現を活性化させるアセチル化が加齢後に多く認められました。一度遺伝子発現が活性化した遺伝子領域ではアセチル化が蓄積し続け、遺伝子を読み取りやすい状態に維持したと考えられます。

以上のような仕組みで高脂肪食摂取によるマッスルメモリーが形成され、加齢後の身体機能に影響を与えることがわかりました。

(健康科学研究科・スポーツ健康学科 准教授 河野 史倫)

## カメラ越しで伝えるジビエ料理の特別講習会

6月25日に応用調理学実習でフランス料理店「オーベルジュ・エスポワール」のオーナーシェフとして活躍されている藤木徳彦氏を講師に、ジビエの特別講習会が行われました。毎年恒例の本講習会ですが、いつもと違うのは、カメラを通じたオンラインでの講義となったことです。



初めに管理栄養士として意識すべき食材と向き合うことについて、日本国内の野生鳥獣の捕獲と利用の現状や流通ルールについての講義、続いて実際に調理室に運び込まれたシカを解体しながら、体の構造や各部位の特徴と適した調理方法について学びました。その後シカ肉の「ポワレ」「ハンバーグ」「ミートソース」の調理実演が行われました。受講した学生たちからは、「カメラ越しではあったが藤木シェフの解説が分かりやすかった」「学べるものがとても多い貴重な授業であった」「すべての食材に敬意をもって、おいしく活用し調理していくことが食を提供していく管理栄養士にも重要になってくると感じた」といった感想が寄せられました。

(健康科学研究科・健康栄養学科 准教授 石原 三妃)

## 『第54回梓乃森祭』 オンライン開催決定!



梓乃森祭  
特設HP

2020年度の大学祭「梓乃森祭」は、新型コロナウイルス感染拡大の現状を受けて、10月16日(金)にオンラインで開催することが決定しました。

視聴方法については、準備が整い次第、本学ホームページ・梓乃森祭ホームページにてご案内させていただきます。例年とは異なる開催形式となりますが、これまでに足を運ぶことができなかった方にも気軽に大学祭を楽しんでいただければ幸いです。オンラインだからこそできる梓乃森祭を、学友会一丸となってつくり上げますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

※無観客での完全オンライン開催となりますので、当日はキャンパスへ来訪されることのないようお願いいたします。

問い合わせ先 松本大学 学生課 TEL 0263-48-7203



## 硬式野球部

### エキシビジョントーナメントの経験を活かし 秋季リーグ戦に臨む

春のリーグ戦が中止となり、代替え大会として関甲新学生野球連盟エキシビジョントーナメント大会が8月8日から開催されました。本学からは、AチームとBチームの2チームが参加しました。Aチームは準決勝へ進出しましたが惜しくも敗退し3位、Bチームは初戦敗退となりましたが、両チームともに自信につながった部分と今後の課題が明確となりました。特にBチームについては、出場機会の少ない選手が躍動するなど選手や我々指導者にとっても、意味のある大会になったように感じます。新型コロナウイルスによる活動自粛期間中は、不安とストレスを抱えながらも選手自身が自ら個人練習を行い、活動再開後も限られた練習時間の中で、最大限のパフォーマンスを出せるよう、選手が工夫して自発的に練習に取り組んでいました。練習や試合、

野球を普通にできることが自粛期間を経て、当たり前ではないということを感じました。様々なことに感謝の念を抱きながら、秋季リーグ戦は必ず優勝します。

(硬式野球部 監督 清野 友二)

### ■関甲新学生野球連盟 秋季2部リーグ戦【日程と速報】

節	月	日	曜	対戦カード	開始時間	会場
第1節	9	5	土	松本大学—長野大学 ( 21 — 0 )	12:00	松本大学
		6	日	長野大学—松本大学 ( 1 — 24 )	12:00	
第3節	9	19	土	松本大学—山梨大学	10:00	松本大学
		20	日	山梨大学—松本大学	12:30	
第4節	9	26	土	松本大学—信州大学	12:00	松本大学
		27	日	信州大学—松本大学	12:00	
第5節	10	3	土	松本大学—高崎経済大学	10:00	松本大学
		4	日	高崎経済大学—松本大学	12:30	

\*日程・会場が変更になる場合があります。

## サッカー部

### 長野県サッカー選手権大会決勝で惜敗

8月16日、男子サッカー部はサンプロアルウィンで行われた長野県サッカー選手権大会決勝でアルティスタ浅間と対戦し、0-1で敗れ、今年度も悲願の天皇杯出場は果たすことができませんでした。

今シーズンは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、公式戦の中止や延期が相次ぎ、県選手権も準決勝までが中止となり、これまでの実績による県サッカー協会からの推薦という形で決勝進出チームが決まりました。そして決勝戦の開催が決まった後も、直前で日程が再度延期となり、最終的には無観客での開催となる等、心身のコンディションを維持していく難しさを経験しました。

選手たちは今ある力を尽くし懸命に戦いましたが、5度目の決勝戦も勝つことができませんでした。天皇杯出場は時期尚早ということでしょう…。私たちができることは、次なる目

標へ向けて日々努力を重ねる以外にありません!

当日はリモートによるご声援ありがとうございました。9月20日から後期リーグ戦が始まります。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

(サッカー部 部長兼監督 齊藤 茂)



### ■北信越大学サッカーリーグ戦1部 後期リーグ戦【日程】

節	月	日	曜	対戦カード	開始時間	会場
第1節	9	20	日	松本大学—福井工業大学	10:15	松本大学
第2節	9	26	土	松本大学—金沢聖徳大学	10:15	松本大学
第3節	10	3	土	北陸大学—松本大学	10:30	北陸大学フットボールパーク
第4節	10	18	日	松本大学—新潟医療福祉大学	10:15	松本大学
第5節	10	24	土	新潟産業大学—松本大学	15:30	経大フィールド
第6節	10	31	土	金沢大学—松本大学	10:30	金沢大学SOLTILO FIELD
第7節	11	8	日	松本大学—新潟経営大学	10:30	北陸大学フットボールパーク

\*日程・会場が変更になる場合があります。

## 陸上競技部 主な大会結果

### ◇第94回北信越学生 陸上競技対校選手権大会 (8月1日・2日/石川県西部緑地公園陸上競技場)

#### 男子6位以内

11位	10000m	池田 悠司 (総合経営学科2年)	31分58秒25
12位	5000m	池田 悠司	15分23秒05
	棒高跳	石坂 義海 (スポーツ健康学科1年)	4m50
13位	走幅跳	深沢 友昭 (スポーツ健康学科4年)	6m97
14位	400mH	熊谷 悟 (スポーツ健康学科3年)	55秒33
	砲丸投	金子 周平 (スポーツ健康学科2年)	12m03
	400mR	花形 駿介 (スポーツ健康学科4年)	3分22秒91
		水島 優 (大学院健康科学研究科2年)	
		和田 響一 (スポーツ健康学科1年)	
		熊谷 悟	
15位	三段跳	内堀 岳宏 (スポーツ健康学科3年)	13m84
16位	1500m	黒岩 優斗 (スポーツ健康学科1年)	4分10秒49
	走幅跳	内堀 岳宏	6m91
	1600mR	伊藤 可能 (スポーツ健康学科3年)	43秒21
		石坂 義海、水島 優	
		成澤 稜 (スポーツ健康学科4年)	

#### 女子6位以内

11位	三段跳	木田 沙耶 (スポーツ健康学科4年)	11m30
12位	棒高跳	田中 愛 (スポーツ健康学科1年)	3m00
	ハンマー投	荒井 葵風 (スポーツ健康学科1年)	35m91
13位	棒高跳	清水 愛奈 (スポーツ健康学科1年)	2m90
	砲丸投	小林 弥希 (スポーツ健康学科1年)	10m99
	400mR	青柳 里央 (スポーツ健康学科4年)	49秒68
		児玉 奈美 (スポーツ健康学科4年)	
		田中 愛、木田 沙耶	
14位	400m	児玉 奈美	59秒58
	走幅跳	鈴木 陽世梨 (スポーツ健康学科1年)	5m22
	砲丸投	岩下 早紀 (総合経営学科4年)	10m16
	円盤投	岩下 早紀	30m69
	やり投	小林 弥希	42m94
	1600mR	鈴木 陽世梨、児玉 奈美	4分11秒75
		青柳 里央、木田 沙耶	
15位	1500m	小林 和奈 (健康栄養学科3年)	5分21秒14
	5000m	小林 和奈	21分02秒98
	走幅跳	田中 愛	5m03
	砲丸投	滋田 祐希 (スポーツ健康学科3年)	9m79
16位	200m	児玉 奈美	26秒41
	100mH	鈴木 陽世梨	16秒37

なお、本来であれば優勝した男子10000mの池田悠司選手と女子三段跳の木田沙耶選手は、「地区優勝枠」で日本インカレの出場権を獲得できましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、出場人数を絞るため、決められた記録に達した選手のみでの出場となり、残念ながら出場が叶いませんでした。

### ◇長野サマー・トライアル2020兼 第63回東海陸上競技選手権大会選考会 (7月18日・19日/松本平広域公園陸上競技場)

#### 男子6位以内

11位	ハンマー投	萩原 倅司 (スポーツ健康学科2年)	46m85
12位	棒高跳	石坂 義海	4m60
	砲丸投	金子 周平	12m32
	ハンマー投	山田 勇里	43m85
15位	5000m競歩	塩島 和弥	26分39秒87

#### 女子6位以内

11位	砲丸投	小林 弥希	10m79
13位	400m	児玉 奈美	59秒32
	棒高跳	田中 愛	3m20
	円盤投	岩下 早紀	30m71
14位	ハンマー投	荒井 葵風	36m04
	やり投	小林 弥希	41m18
15位	三段跳	木田 沙耶	10m87
	砲丸投	岩下 早紀	10m12
16位	棒高跳	清水 愛奈	2m90

(注)Hはハードル、Rはリレーの略



# 2021年度 入試日程

## ■ 総合経営学部/総合経営学科・観光ホスピタリティ学科 (定員:総合経営学科90名、観光ホスピタリティ学科80名、編入学各学科5名)

選抜区分	募集人員		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	選抜方法
	総合経営	観光ホスピタリティ					
学校推薦型選抜前期(指定校・公募)	40	35	11/2(月)~11/13(金)	11/21(土)	12/1(火)	12/15(火)	書類審査、筆記試験(文章理解)、個人面接
学校推薦型選抜後期(公募)	5	5	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	
総合型選抜(一般)	8	10	エントリー 9/14(月)~9/26(土)	11/14(土)	11/18(水)	12/11(金)	一次選抜=模擬授業+確認テスト 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
総合型選抜(指定競技)			一次選抜 10/3(土)				
一般選抜A(全学共通)	20	15	1/4(月)~1/29(金)	2/6(土) 2/7(日)	2/16(火)	2/24(水)	国(必須)+数・英・地歴・公から1教科
一般選抜B(全学共通)	3	3	2/8(月)~2/19(金)	2/25(木)	3/3(水)	3/10(水)	国・数・英・地歴・公から2教科
一般選抜C(全学共通)	2	2	2/22(月)~3/5(金)	3/11(木)	3/17(水)	3/24(水)	国・数・英・地歴・公から2教科
大学入学共通テスト利用選抜I期	8	6	1/4(月)~2/5(金)	—	2/16(火)	2/24(水)	国(必須)+数・外・地歴・公から1教科
大学入学共通テスト利用選抜II期	2	2	2/8(月)~2/23(火)	—	3/3(水)	3/10(水)	国・数・外・地歴・公から2教科
大学入学共通テスト利用選抜III期	2	2	2/22(月)~3/9(火)	—	3/17(水)	3/24(水)	国・数・外・地歴・公から2教科
帰国生徒選抜	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
外国人留学生選抜前期	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	2/8(月)~2/19(金)	2/25(木)	3/3(水)	3/10(水)	
社会人選抜	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
編・転入学選抜I期	3	3	8/24(月)~9/4(金)	9/18(金)	9/25(金)	10/9(金)	
編・転入学選抜II期	2	2	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	

○試験会場/松本大学 ※一般選抜A[試験2/6(土)]のみ、長野市、新潟市、甲府市、高崎市会場でも実施  
※編・転入学希望者は、出願の3週間前までに事前相談が必要です。詳しくはWEBの学生募集要項をご確認ください。

## ■ 人間健康学部/健康栄養学科・スポーツ健康学科 (定員:健康栄養学科70名、スポーツ健康学科100名、編入学各学科5名)

選抜区分	募集人員		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	選抜方法
	健康栄養	スポーツ健康					
学校推薦型選抜前期(指定校・公募)	32	34	11/2(月)~11/13(金)	11/21(土)	12/1(火)	12/15(火)	書類審査、筆記試験(文章理解)、個人面接
学校推薦型選抜後期(公募)	3	5	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	
健康栄養学科 総合型選抜(一般)	5	—	エントリー 9/14(月)~9/26(土)	11/14(土)	11/18(水)	12/11(金)	一次選抜=模擬授業I+確認テスト、 模擬授業II+確認テスト 二次選抜=書類審査、個人面接、課題審査
スポーツ健康学科 総合型選抜(一般・運動)	—	25	一次選抜 10/3(土)				
スポーツ健康学科 総合型選抜(指定競技I期)	—	—	エントリー 9/14(月)~9/26(土)	11/14(土)	11/18(水)	12/11(金)	(一般) 一次選抜=模擬授業+確認テスト 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)、プレゼン+面接 (運動) 一次選抜=オリエンテーション+プランニングシート作成 二次選抜=書類審査、運動能力テスト、個人面接 指定競技I期・指定競技II期
スポーツ健康学科 総合型選抜(指定競技II期)	—	若干名	一次選抜 10/3(土)				
一般選抜A(全学共通)	14	17	1/4(月)~1/29(金)	2/6(土) 2/7(日)	2/16(火)	2/24(水)	健康栄養学科:理(必須)+国・数・英から2教科 スポーツ健康学科:国(必須)+数・英・理から1教科
一般選抜B(全学共通)	3	3	2/8(月)~2/19(金)	2/25(木)	3/3(水)	3/10(水)	健康栄養学科:理(必須)+国・数・英から1教科
一般選抜C(全学共通)	若干名	2	2/22(月)~3/5(金)	3/11(木)	3/17(水)	3/24(水)	スポーツ健康学科:国・数・英・理から2教科
大学入学共通テスト利用選抜I期	10	10	1/4(月)~2/5(金)	—	2/16(火)	2/24(水)	健康栄養学科:理(必須)+国・数・外・地歴・公・理から2教科 スポーツ健康学科:国(必須)+数・外・理から1教科
大学入学共通テスト利用選抜II期	3	2	2/8(月)~2/23(火)	—	3/3(水)	3/10(水)	健康栄養学科:理(必須)+国・数・外・地歴・公・理から1教科
大学入学共通テスト利用選抜III期	若干名	2	2/22(月)~3/9(火)	—	3/17(水)	3/24(水)	スポーツ健康学科:国・数・外・理から2教科
帰国生徒選抜	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	書類審査、筆記試験(文章理解)、個人面接
外国人留学生選抜	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	
健康栄養学科 社会人総合型選抜・ スポーツ健康学科 社会人総合型選抜	若干名	若干名	エントリー 9/14(月)~9/26(土)	11/14(土)	11/18(水)	12/11(金)	健康栄養学科: 一次選抜=模擬授業I+確認テスト、模擬授業II+確認テスト 二次選抜=書類審査、課題審査、個人面接 スポーツ健康学科: 一次選抜=模擬授業+確認テスト 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)、プレゼン+面接
			一次選抜 10/3(土)				
編・転入学選抜I期	3	3	8/24(月)~9/4(金)	9/18(金)	9/25(金)	10/9(金)	(編入学)書類審査、筆記試験、個人面接
編・転入学選抜II期	2	2	11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	(転入学)書類審査、個人面接

○試験会場/松本大学 ※一般選抜A[試験2/6(土)]のみ、長野市、新潟市、甲府市、高崎市会場でも実施  
※編・転入学希望者は、出願の3週間前までに事前相談が必要です。詳しくはWEBの学生募集要項をご確認ください。

## ■ 教育学部/学校教育学科 (定員:80名)

選抜区分	募集人員		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	選抜方法
	学校教育						
学校推薦型選抜前期(指定校・公募)	20		11/2(月)~11/13(金)	11/21(土)	12/1(火)	12/15(火)	書類審査、筆記試験(文章理解)、個人面接
学校推薦型選抜後期(公募)	3		11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	
総合型選抜(一般・特別技能・地域)	9		エントリー 9/14(月)~9/26(土)	11/14(土)	11/18(水)	12/11(金)	一次選抜=模擬授業+確認テスト 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
スカラシップ選抜	7		一次選抜 10/3(土)				
一般選抜A(全学共通)	20		1/4(月)~1/29(金)	2/6(土) 2/7(日)	2/16(火)	2/24(水)	国・数・英(必須)+地歴・公・理から1教科
一般選抜B(全学共通)	2		2/8(月)~2/19(金)	2/25(木)	3/3(水)	3/10(水)	国(必須)+数・英・地歴・公・理から1教科
一般選抜C(全学共通)	2		2/22(月)~3/5(金)	3/11(木)	3/17(水)	3/24(水)	国・数・英・地歴・公・理から2教科*
大学入学共通テスト利用スカラシップ選抜	3		1/4(月)~2/5(金)	—	2/16(火)	2/24(水)	国・数・外(必須)+地歴・公・理から2教科
大学入学共通テスト利用選抜I期	10		1/4(月)~2/5(金)	—	2/16(火)	2/24(水)	国(必須)+数・外・地歴・公・理から2教科*
大学入学共通テスト利用選抜II期	2		2/8(月)~2/23(火)	—	3/3(水)	3/10(水)	国(必須)+数・外・地歴・公・理から1教科
大学入学共通テスト利用選抜III期	2		2/22(月)~3/9(火)	—	3/17(水)	3/24(水)	国・数・外・地歴・公・理から2教科*
帰国生徒選抜	若干名		11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	書類審査、筆記試験(文章理解)、個人面接
外国人留学生選抜	若干名		11/30(月)~12/8(火)	12/13(日)	12/21(月)	1/8(金)	
社会人総合型選抜	若干名		エントリー 9/14(月)~9/26(土)	11/14(土)	11/18(水)	12/11(金)	一次選抜=模擬授業+確認テスト 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
			一次選抜 10/3(土)				

○試験会場/松本大学 ※一般選抜A[試験2/6(土)]のみ、長野市、新潟市、甲府市、高崎市会場でも実施

\*地歴・公の2教科の選択は不可



■ 松本大学松商短期大学部 / 商学科・経営情報学科 (定員:各学科100名)

選抜区分	募集人員		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	選抜方法
	商	経営情報					
学校推薦型選抜前期(特待生)	若干名	若干名	11/2(月)~11/13(金)	11/22(日)	12/1(火)	12/15(火)	書類審査、筆記試験(文章理解)、個人面接
学校推薦型選抜前期(指定校・公募)	60	60					
学校推薦型選抜後期(公募)	10	10	11/30(月)~12/8(火)	12/12(土)	12/21(月)	1/8(金)	書類審査、個人面接
総合型選抜Ⅰ期(一般)	5	5	エントリー 9/14(月)~9/26(土) 一次選抜 10/5(月)~10/8(木) 出願 10/19(月)~10/30(金)	11/7(土)	11/13(金)	11/27(金)	一次選抜=個人面接 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)
総合型選抜Ⅱ期(一般)	5	5	エントリー 11/16(月)~11/24(火) 一次選抜 11/27(金)・11/30(月) 出願 12/2(水)~12/8(火)	12/12(土)	12/21(月)	1/8(金)	
総合型選抜Ⅲ期(一般)	若干名	若干名	3/9(火)~3/19(金)	3/23(火)	3/25(木)	3/29(月)	書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
一般選抜A	6	6	1/4(月)~1/29(金)	2/6(土)	2/16(火)	2/24(水)	国・数・英・簿記から1教科、個人面接
一般選抜B	2	2	2/17(水)~3/5(金)	3/10(水)	3/16(火)	3/23(火)	筆記試験(小論文)、個人面接
一般選抜C	2	2	3/9(火)~3/19(金)	3/23(火)	3/25(木)	3/29(月)	
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	6	6	1/4(月)~2/5(金)	—	2/16(火)	2/24(水)	
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2	2	2/17(水)~3/8(月)	—	3/16(火)	3/23(火)	国・数・外・地歴・公から1教科
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	2	2	3/9(火)~3/19(金)	—	3/25(木)	3/29(月)	
帰国生徒選抜	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/12(土)	12/21(月)	1/8(金)	
外国人留学生選抜前期	若干名	若干名	11/30(月)~12/8(火)	12/12(土)	12/21(月)	1/8(金)	書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	2/8(月)~2/19(金)	2/25(木)	3/3(水)	3/10(水)	
社会人総合型選抜Ⅰ期	若干名	若干名	エントリー 9/14(月)~9/26(土) 一次選抜 10/5(月)~10/8(木) 出願 10/19(月)~10/30(金)	11/7(土)	11/13(金)	11/27(金)	一次選抜=個人面接 二次選抜=書類審査、筆記試験(小論文)
社会人総合型選抜Ⅱ期	若干名	若干名	エントリー 11/16(月)~11/24(火) 一次選抜 11/27(金)・11/30(月) 出願 12/2(水)~12/8(火)	12/12(土)	12/21(月)	1/8(金)	
社会人総合型選抜Ⅲ期	若干名	若干名	3/9(火)~3/19(金)	3/23(火)	3/25(木)	3/29(月)	書類審査、筆記試験(小論文)、個人面接

○試験会場 / 松本大学 ※一般選抜A[試験2/6(土)]のみ、長野市、新潟市、甲府市、高崎市会場でも実施

■ 松本大学大学院 / 健康科学研究科 (修士課程)

試験区分	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
健康科学研究科選抜Ⅰ期(一般学生・学内推薦学生・社会人)	3	8/24(月)~9/4(金)	9/18(金)	9/25(金)	10/9(金)
健康科学研究科選抜Ⅱ期(一般学生・学内推薦学生・社会人)	3	1/4(月)~1/29(金)	2/7(日)	2/16(火)	2/24(水)

詳しくは、  
WEBの学生募集要項を  
必ずご確認ください。



## 2020 最後のオープンキャンパス

[日時] **9.26** 土



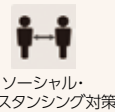
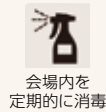
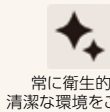
事前申込制 参加申し込みは、webから

午前の部 **10:00▶12:30** (受付9:30から)  
午後の部 **13:00▶15:40** (受付12:30から)

詳細の  
予定は  
当日案内

途中退出  
自由

保護者  
1名のみ  
参加可



- 定員に達し次第、締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。
- 当日は松本駅から松本大学間の無料往復シャトルバスを30分間隔で運行します。必要な方はご利用ください。また、駐車場も開放しますので、お車でもお越しいただけます。

感染レベルの状況により、内容に変更が出る可能性がありますので、ご来場前には本学ホームページにて最新情報をご確認ください。

## 受験前の不安や疑問を解決します 『個別入試相談』 随時受付中

ご希望の方は下記要領をご確認いただき、お申込みください。

**対象**

高校3年生およびその保護者

**日時**

平日9:00~17:00の間で  
応相談

※お問い合わせ・実施ともに上記時間内となります。

※土日祝日および本学が定めた休館日は実施いたしません。

**開催場所**

松本大学

**申込方法**

事前に電話でお申し込みいただき、日時をご相談いたします。

電話番号

**0263-48-7201**

**アクセス**

学内駐車場を開放しますので、お車でもお越しいただけます。

動画で体験してください

## WEBキャンパス

University Guidance On The WEB ガイダンス

[www.matsumoto-u.ac.jp/video](http://www.matsumoto-u.ac.jp/video)



「ねえ、道草しない?」  
20周年特別編として再放送されたフジテレビの月9ドラマ『やまとなでしこ』(第2話)より、主人公の桜子(松嶋菜々子)が欧介(堤真一)を夜の公園に誘い出す一幕です。作中は一貫して合理的な拝金主義を演じる桜子も、このときは天真爛漫の遊び心のまま裸足で門を乗り越えてみせると、池に浮かぶ手漕ぎボートめがけて走りだします。  
さて「観光」はしばしば「楽しみを目的とする旅行」として説明され、英訳tourismは人々の「巡る」様子を言葉の由来とします。両者を合わせれば「楽しみのために周遊す

る」。合理的である必要も経済的な条件もありません。たとえ小さな移動でも、遊び心によって楽しく道草できたなら、それは「観光」に数えてよいのです。  
戦後日本の「観光」は、その経済効果ばかりが目立ってきました。1980年代は好景気を追い風としたリゾート開発。90年代にバブルが崩壊すれば、ゼロ年代からインバウンド客がもたらす外貨収入ありきの観光立国が目指されました。今回のコロナ禍ではこうした「観光」の在り方そのものが問われています。  
「観光」はいつまで経済発展の手先に使

われ続けるのか。物議を醸す「Go Toキャンペーン」の本質的な問題も、インバウンド市場で失った観光収入をいち早く取り戻そうとする旧態依然とした経済観にあるのではないのでしょうか。今こそ「観光」の持つ本当の価値に目を向けるチャンスなのかもしれません。  
20年前の桜子は、少しばかり遠回りしながらも「本当に大切なもの」に気付くことができました。再び自由に、そして堂々と道草を楽しめる日常が取り戻せますように。その先に、誰も遊び心で豊かさを感じられる日々が訪れることを祈っています。

Information

長野県教育界の発展を! 「2020年度松本大学教育実践改善賞」論文募集

本学では、学校法人松商学園の創立120周年を記念し、地域および教育界へのさらなる貢献を目指し、「松本大学教育実践改善賞」を創設しました。創設3年目となる今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校が大変困難な状況に置かれていますが、長野県内の優れた教育実践に光を当てる本賞の趣旨を踏まえ、これまでと同様に募集を行います。昨年度は、17名の応募があり、3名が松本大学教育実践改善賞に、11名が特別賞に輝きました。受賞論文は、冊子にまとめ長野県内全教育委員会および教育事務所等に送付しています。  
なお、本賞の募集に関しては、長野県教育委員会の後援を受けています。皆様から多数のご応募をお待ちいたします。

**目的**  
学校教育における教育実践または地域の教育振興に実績が顕著な教員を表彰し、長野県全体の教育振興に寄与することを目的としています。

**応募条件**

**1 一般教員部門**  
長野県内の小学校、義務教育学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の現職教員を対象とします。

**2 卒業生部門**  
松本大学の学部または大学院(研究生を含む)を卒業または修了し、現在教職に就いている方を対象とします。長野県の内外は問いません。

※他の賞または研究誌に応募し、受賞または掲載されたものは除きます。  
※応募者が自ら行った実践であることを条件とします。

**賞 賞状および賞金8万円**


**募集期間 2020年10月10日～12月10日** (郵送のみ、必着)

**応募先 〒390-1295 長野県松本市新村2095-1 松本大学教職センター**

**お問い合わせ先** (教職センター長) E-mail yasutoshi.yamazaki@t.matsuo.ac.jp  
(教職センター事務局) TEL 0263-48-7260

詳しくは、こちらをご覧ください。

松本大学教育実践改善賞 2020 検索



松本大学生協からのご案内

- 【生協の営業】** 購買、食堂は時間短縮で営業中です。ミニショップは休業していますが、学生が通学できるようになったら、全店営業を計画しています。
  - 【感染症対策】** 食堂では、対面にならないよう席数を減らし、感染予防対策を行っています。消毒用アルコールの設置、飛沫予防パーテーション、ビニールシートの設置を行い営業しています。
  - 【教科書販売】** 後期の教科書販売は現在準備を進めており、密を避ける方法で販売を検討しています。販売方法については後日ご案内予定です。
  - 【健康食券】** 健康食券は、7%のプレミアがついています。食堂だけでなく、購買でも金券としてご利用いただけます。すでに利用していただいている方も追加でのご購入をおすすめいたします。
- 問い合わせ先**  
松本大学 生活協同組合 TEL 0263-48-7280

**編集後記** 最近、思いっきり笑ったことありますか?  
新型コロナウイルスの影響で、私達は今までと同じ日常生活が過ごせなくなりました。オンライン授業やリモートワーク、ソーシャルディスタンスを前提とした新しい生活様式に慣れることは大変で、ちょっとした出来事でも不安になったり、気持ちが沈んだりしてしまいます。でもこんな時だからこそ、いっぱい笑ってください。  
「笑う門には福来る」ということわざもあるように、笑顔は自分も周りも幸せな気持ちにしてくれます。そして、最近の研究では、私達の体の中に存在し侵入してきたウイルスと戦ってくれるNK(ナチュラルキラー)細胞は、笑うことでその活性が上がる事が分かっています。つまり笑うと免疫力も上がり、ウイルスに罹り難くなるのです。こんな時だからこそ笑顔を忘れずに。新しい繋がりを大切にしていきましょう。  
(記・入試広報室長 坂内 浩三)



**松本大学**  
〒390-1295 長野県松本市新村2095-1  
TEL 0263-48-7200 FAX 0263-48-7290  
www.matsumoto-u.ac.jp

